

平成 25 年度 新学術領域研究（研究領域提案型）審査結果の所見

研究領域名	こころの時間学 現在・過去・未来の起源を求めて
領域代表者	北澤 茂（大阪大学・大学院生命機能研究科・教授）
研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、ヒトと霊長類の時間認識（過去・現在・未来）が生み出されるメカニズムを神経科学の手法によって明らかにし、時間認識に係るヒト病態を扱う臨床神経学者に加え、人間の時間表現に精通した哲学・言語学者や比較認知科学者との共同研究を展開することで、「こころの時間学」という新興・融合領域を創出しようとする提案である。神経科学、医学、認知科学、言語学、哲学等を横断するアプローチから革新的・創造的な学術研究の発展が期待され、他分野への波及効果も含めて新学術領域研究としてふさわしい。また、心的外傷後ストレス障害や認知症の予防、鬱病の改善などへの応用を目指しており、研究の必要性は高いと考えられる。</p> <p>研究組織は、実績のある多様な研究者で構成されているが、領域全体を横断する手法や仕組みが十分ではなく、計画研究間の連携・統合を促すための工夫が必要である。また、神経科学や哲学的・言語学的な研究成果をどのように連携させていくのかをより明確にするとともに、心理学、哲学、言語学などの研究者については公募研究において補うことが望ましい。</p>